

焼津市自治基本条例制定・キックオフイベント「大ワールドカフェ」

～各班の成果：模造紙記録と発表概要

平成24年9月29日（土）実施

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため（テーマ1とテーマ2は原則違う人）

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

【1班】

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①焼津市では自治会を通していろいろな事が進んでいるが、自治会の文言がない
- ②市民会議の中の自治会のあり方について疑問に思う
- ②一市民の声を行政に届ける窓口を発見した
- ③市民の意識を高めるために納税者意識をもつことが大切（PI活動で）
- ③自治会のあり方をうたう（役割と責任）
- ③子育てについてはあがっていましたが、教育についての文言が出てこない
- ④公共交通機関バス等を充実してほしい
- ⑤これから大切だと思ったことは、津波対策だと思いました。そして、津波対策に対しての地区ごとの自治会のあり方など、これからは考えていく必要があるのではないかと思います
- ⑥興味をもつ。心からこうしていきたいと（具体的に）思い、話をしていく

《模造紙に記入》

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①（子育てグループにいる自省をこめて）高等（大学）教育の充実
- ①基本理念を記した前文を作る（規範性を有するもの）
- ②自治を担う各々がその役割を果たすことが住みたい、住み続けたいまちになることを理念としてうたう
- ③市民からの言い分、行政からの言い分、それぞれの立場からの言い分、それらがみんないい街にしたいという事から出ている事をふまえての話し合いをし、理解し合うことが必要だと思うが、どういうルールにしていけばいいか、まだよくわかりません。
- ③子供がいじめに合うと、地元にいられなくなってしまう。地元を愛する人を育てるためには、いじめの問題は大切だと思う → LOVE やいづのひとづくりのため
- ④若い世代も積極的にまちづくりに関わっていくこと
- ④地域の特色を生かしたまちづくり → おらが町のプライド
- ⑤若い人が参加しやすくなるとういと思っています

《模造紙に記入》

◎実効性をどのように確保するか明記

◎条例の更新 ← 自治基本条例以外の条例 他の条例で制限されてしまう

◎難しい用語をなるべく使わない

◎用語の説明をいれこんで理解しやすくする

【2班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

①自分の住む焼津市を愛すること。 LOVE 焼津。 → 中の人→発信 外の人→発見発信

たった一度の人生、気に入った地域で豊かに暮らす

①基本条例の必要性が一般論的！！(上から)

→ 全体が大きすぎて具体性に欠ける。基本理念の存在

現在の焼津をもっと見つめて具体的に必要性を

並べなければ説得力に欠ける → 現行から

②全ての立場の人に有効な共通ルール(条例)がそう簡単に作ることができるのか(作れたら素晴らしいが)

③「条例」にとどまらない、生きた「条例」

→ 実効性のみならず、市民の理解と実行を伴う条例であること

「条文」ではなく「意識」が大切

④地震対策。 → 根っこ。人口減少。 地震に対する不安がなくなることはないが、極力減らすことをしないと、人がいなくなり、町全体がダメになる

《模造紙に記入》

◎お金 → 雇用の場(個人の)

+

→ 継続する企業(市の)

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

①理念のみにとどまらず、実効性のあるものにする

①市民・議会・行政のつながりがスムーズにいくようなルールにしていかなければならない

②市民の権限と義務(範囲)を明確に!

代表として選出されている市長・議員の権限と義務を確実に実効させる

市民の権限を確実に実行 and 義務を確実に実行(責任はどこに?)

☆条例化する前にしなければいけないことがあるのでは? → 住民投票で決めるべき

③地方自治の根本に関わる問題であり、発起は大事であるが、十分な時間と十分な議論をお願いしたい

④市民会議をより広め、市民の声を発信出来る場を作ろう

⑤生活課題をとりあげるルートづくり

⑥条例が市政にどのようにつながるのか

【3班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①説明を理解してもらえたか不安。 自分が「市民会議」に参加してただけに
- ②情報の共有化が、難しいことだけど大切なことだと考えます
- ③自治基本条例の基本理念などいくつかあったが、その優先順位や削らざるを得ないものがあったらどれから削るのか
- ④近所づきあいが大切だと思いました。 でもあまりしつこいと嫌なので距離感がむずかしい
- ⑤絆。 人と人とのつながり
地域のつながり
市民と行政のつながり
- ⑥将来(子供や孫の世代)に今より住みやすく安心して暮らせるまちにすること
- ⑥住み続けたいと思わせるまちにすること

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①基本条例そのものを定期的に組み直す必要を盛り込む
 - ②子供達を大切にすまちであり続けたい
笑顔があふれるまち → 一人一人が幸せに暮らせるまち
 - ③広く市民から意見を集めるのは良いが、住民投票できるのは国民だけにすべきだと思う。(外国人の人は地域に責任を持ってないので。) 住民だけにすべきだと思う。在学・在勤の人は責任を持ってないので。
 - ③市民がそれぞれの立場でものを言うと、意見がまとまらなくなる。その時は安易に住民投票にするのではなく、やはり行政で調整し、議会で議決してほしい。市民は素人ですので、收拾がつかなくなります。
- ```

graph TD
 市民 --> サービス
 市民 --> 行政
 サービス <--> 行政
 議会 <--> 行政

```
- ④災害時において、近隣住民や地元企業が一緒になって動ける(助け合える)ルールづくり
  - ⑤焼津市をより良くしていくために、どうしたら良いか、や、こうしてほしい、という意見を誰でも簡単に発信し、話し合える場をもつこと
  - ⑥一人ひとりが広報マン。もっと焼津のよさを知ってもらいたい。口コミなど情報発信を市内だけでなく外へ

《模造紙に記入》

◎協働のしくみづくり

◎地域コミュニティのあり方、従来の見直し

## 【4班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※*斜体文字*は、班で話し合い、記入した事項

### ●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

①行政と市民の協働(パートナーシップ)とても良いことだと思います。

負担をどの様にするか、その配分と、決定する仕組み作りは？

②少子高齢化に伴う税収の減に対する対策

↓  
例) まちづくり税(コミュニティ) = コミュニティ活動への参加の必要性が持たれる  
※アクションの起こし方が大事

③焼津ブランド

④若い世代の市民会議への参加

⑤内容に抽象的なことがあり、旗揚げアンケート3、を上げ具体的説明が必要である。

条例必要は認める

⑥協働のしくみづくり

⑦真の意味でのコミュニティづくり(つながる・・・) — 従来のあり方を見なおす

### ●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

①個人個人が権利と義務を明確に自覚できる仕組みが必要だと思う

②新たなブランド。 LOVE

③出産奨励金制度

④若い人へのアピール活動

⑤基本条例が実行できるような基盤作りに関してふれておく必要があるのではないか！

↳ 継続していくことを念頭に！！

焼津ならではの基本条例であることの明確化！

⑥具体的な案を持って話し合う(思いやりを持つ)

《模造紙に記入》

◎若い人が住み続けるまちづくり

◎女性が働きやすいまちづくり(待機児童ゼロの町)

## 【5班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため（テーマ1とテーマ2は原則違う人）

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

### ●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ① 条例というものがよくわからないので、条例という形になった時のメリットデメリットがよくわからない
- ① この街に生まれて良かったという思いを集めていって、これからどうなっていったらいいかを話し合っていく機会を設けられたら楽しいと思う
- ② 子供からお年寄りの方々の幅広い年齢層の方々が理解しやすく、参加しやすい条例のありかた
- ③ 若い世代の参加 「自分たちのまち、担い手になる」という意識
- ③ 「市民の意識改革」 もっと焼津に目を向ける
- ④ 子どもたちがのびのび遊べ、その辺りに親が集える場がたくさんあったらいい  
→ そこから人のつながりがはじまっていくように思う
- ⑤ 人の今を守るまち。 防災・津波
- ⑤ 住む人が誇りを持って住めるまち（プライド）
- ⑤ 作る意図がうすい
- ⑥ 住民投票はどこが実施するのかを決めるのか？
- ⑥ 条例化するということは、権利と義務が生じる。権利を行使した義務を確実に実行するのはだれか？  
市民の定義が広すぎる  
多数の意見を誰がまとめるのか？  
片よった方向に行かないか？
- ⑥ 市長・議員は投票で地域の代弁者として選出されている → 条例化されればいけない？  
自治会の役割はどうなるのか？  
市民の代表委員が決まると思うか？

### ●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ① まちに誇りをもって、文化や伝統を次の世代にうけつぐことのできるまちにしてほしい
- ② 教育改革
- ③ 施策への市民の関わり  
市民と行政の協働の仕組みづくり。 細則ではなく、行動指針の様なもの（市民が何をするか理解し行動できるもの）  
協働するかしないか、大きな配分、協働の為の組織作り、推進方法など
- ④ 市民に焼津生まれも入れる。 出身者
- ⑤ 車が多いので、ガードレールなどを作った方がいいと思いました

### 《模造紙に記入》

◎若い人（人）が集まる場所、花沢の里、海、身近にある交通の便

【6班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①現在、大部分の住民が知らないのではないか？
- ①災害があったから必要だと言われているが、因果関係がわからない！？
- ①お互いに意見を出し合って、よりよい町づくり・・・とっているが、現実には利害がバラバラで、結果的にいがみ合うようになるのでは？(対中国や対韓国みたいに)
- ①今までの様な、国・県にお任せの仕組みではもたなくなってしまうので・・・というが、というのがどうして？と思う
- ②「自治基本条例」とは何か、なぜ必要なのかを焼津市民みんなに知ってもらうこと
- ③市民一人一人がこの自治基本条例のできる理由、なぜ必要なのかを理解すること  
→ PI活動をしているが・・・
- ③人と人とのつながり  
→ 防災にせよ、日々の生活にせよ、コミュニケーションをとることは必要  
→ 条例では、協働や子育て支援が該当するかな
- ④市長が変わるたびに主要な改革が変わることのないように、10年単位くらいの総合計画や基本計画が、変わらないものが必要  
優先度を公表し、変更する場合は議会にはかる。(市のバイブルとする条例)
- ④今安心できる地域づくりが求められている。人命は大切であることに変わりはないが、生活基盤が失われない安全策が必要
- ⑤コミュニティが大切だと言うことは報告や資料でわかったが、今は実際どうなのか？
- ⑥コミュニティの場(公民館・公会堂)の有効活動などの話が出たが、“職員さんたちが・・・”という声を良く聞く

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①自治基本条例を広める為の方法を再検討したい
- ②防災対策？ 安心・・・  
↳ 津波でとまるな  
コミュニケーションの場(NPO 団体が活躍できる場・・・)
- ③災害対策をする  
理解してもらうことが必要
- ④誰でも理解できる基本ルール
- ④個々のグループの意見調整役
- ⑤市内に移動できる交通ネットワークをつくることで、老後でも簡単に動けるようにしたい

【7班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

①罰則規定は作るの？

①市民の規定について、もしタバコのポイ捨て禁止条例などできたら、車で通り過ぎる人には条例は適用されないの？

①条例は具体的な数字を入れるの？

例) 何m道路には何mの歩道を作らなければならない

②自治基本条例って、市民にとってどんなメリットがあるんだろう

②弱者が困らないまち

③全体的にわからない。説明がむずかしい

子供にもわかりやすいように、絵などをつける

④産業、漁業だけで大丈夫？

焼津はこれからコレでいくぞという産業考える

④弱者にやさしいまちづくり

バス・交通

④コミュニケーション。焼津のヒトは自分の意見をはっきり言わないような気がします。

もっといろいろな人とたくさん話をしよう。聞こう。混ざろう

⑤災害に強いまちづくり

《模造紙に記入》

◎災害時だけでなく日常時にも必要なこと

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

①市民一人ひとりの助け合いを主として考える条例にしたい

②困っている人の声が拾えるようなしくみ

②市民の方で、これが出来るというものがあれば、集めるようなしくみ

③地域特性にあった防災地策

地域ごとの対策

④あいさつ運動

④県外から移住して来る人へのバックアップ

↳ 子育て世代が集まる

⑤子育てがしやすいまち



⑤高齢者が生活しやすいまち

⑥公共交通機関（バス等）を充実させたい

《模造紙に記入》

◎高齢者を応援していけるしくみ

一人暮らしが多い



安心して暮らせるしくみ

【8班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①子供を守る、若い人を守ることが、地域を存続(発展?)させていく事につながる
- ①防災を家庭から。安心が第一
- ②継承、つなぐ、子供たちのために
- ②日本一健康長寿のまちを目指して
- ③人口流出をくいとめるための方策は?
- ④今ある観光資源の有効活用
- ④商店街が活かされていない
- ④高齢独居はどうなるのか?
- ④黒潮温泉はステキな資源
- ④待機児童がいる現実
- ⑤焼津の良いところ
  - ・地場食材が豊富
  - ・温暖な気候 = 富士山 ⇒ 観光のまち
- ⑤焼津の自然や文化を大切に (LOVE 焼津)
  - → 人口流出を防ぐことができる
- ⑤市民の命を守る(災害に強いまち)
  - → 人口流出を防ぐことができる
- ⑥焼津市を知ってもらう
- ⑥他県や海外の人との交流
- ⑥安心して暮らせるまち

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①生活基盤(収入)、利便性、安全性(特に津波対策)、産業の発展性、等がなければ定住しないことから、都市基盤・企業誘致・津波対策を早める財政ルールが必要
- ②行政が行うこと・市民が行うことを明確にする(自治会単位で)
- ③子育て世代に安心して、子供を皆で育てていく環境作りを個別条例に盛り込むよう、自治基本条例に盛り込む
- ④若い女性が子育てを仕事と両立するための施設をつくる。雇用を増やす。
  - ↓ 安心して子育てできるように、住めるように
  - 津波対策についてのルールを作る
- ⑤情報発信
  - ・焼津の良さ
  - ・観光資源



【9班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①少子高齢化の問題では、仕事で産休が取りやすい環境を作っていくことが人口増加につながる上で大切だと思う *少子高齢化*
- ②産業が元気にならないと・・・  
特に水産業！！ まちづくりをやっている余裕がなくなる *産業*
- ②「津波」というハンディをどのようにクリアし、まちの魅力を高めて外から人を呼びかが大切だと思いました *安心・安全*
- ②まちのランドデザインを早く作る  
防災・災害に強いまち *安心・安全*
- ③問題点や革新的な意見を自由に発言し、実現できる場作り *意思決定システム*
- ③これからおこりうるさまざまな問題を、住民が自らの問題としてとらえ、自らが問題解決にとり組む気持ちになること。 それに行政・議員も積極的に協働すること。 *市民の意識*
- ④市だけ、自分一人だけでなく、市民全体で一緒になってまちを良くしていこうという考えが大切だと思った *市民の意識*
- ⑤「焼津市をもっと良くしていこう」という意識を市民一人ひとりが持つことが大事！  
*市民の意識*

《模造紙に記入》

◎安心・安全に暮らせるまちであること (震災関連等)

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①危機管理についてルール(安心・安全なまちづくり)化する  
財源の確保 *安心・安全*
- ②地域で子どもを守る → 例えば、災害から・・・防災、犯罪から、いじめから  
若い人達を守る →  
そして、育てる、つなげる *安心・安全*
- ③危機管理  
市民・・・まず、自分の命を守る → 他者  
そのための日頃からの準備  
行政・・・市民の手に負えない部分を担う *安心・安全*
- ④コミュニティ作り  
あずまやを作ろう。公民館・ナントカセンターではなくて自由に出入りができる柱だけの屋根  
つきの井戸端会議場 *コミュニティ*
- ⑤高齢者に関するもの *高齢者福祉*
- ⑥意見、希望としてあがり、多勢の同意が得られたことを実現化できるシステムの構築(検討過程を含め、明示する) *システム*

【10班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

- ①PI活動実施グループの5種類(現行のもの)を、年代別にすれば、それぞれの世代の考え方を聞くことができるのではないか
- ①東日本大震災から、きずなの大切さが必要。普段から、地域(コミュニティ)のつながりを強くできるような活動をしていく必要がある
- ②PI活動で多くの方に説明しているようですが、今日も職員が多くて、難しいです
- ②子どもが、ずっと焼津を好きでいて欲しい
- ③財源の確保
- ③市民の活力をどのように活用するのか
- ④市政に市民の協力  
市民が関心をもつ
- ④年長いても安心して住むことのできるまちづくり
- ④地域コミュニティへ参加する(人がつながること)
- ⑤市民と行政が一体化(協働しやすい環境づくり)
- ⑤安心・安全なまちづくり

●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

- ①焼津の資源を活かしたまちづくり (LOVE 焼津)  
自然や文化を大切に ← 人口流出を防ぐことができる
- ②まちづくりの活動を、若者 楽しめる仕組み
- ③地域コミュニティに参加すること  
⇕  
自助・共助の体制整備 ← 安心
- ④こどもが安心して遊び、住める街づくり (こどもが大切にされる街)
- ⑤駅前など商店街など空き店舗が多い。若い人達の中にはお店をやりたい人が多いので、安く貸すなどの支援を!

## 【11班】

※丸数字は、各テーマのカードの記入者を区別するため(テーマ1とテーマ2は原則違う人)

※波下線は、班で話し合いながら、大事な言葉に引いた下線

※斜体文字は、班で話し合い、記入した事項

### ●テーマ1：市民会議の報告を聞いて、これからの焼津市のために大切だと思ったこと、疑問に思ったこと

①人口を増やす

住む人を増やす

①隣組のつきあい

①理念とかすべて大切な事だと思うが、一つ一つが大きすぎる気がして、すべて条例として細かい所まで決めていけるのか？

②人口を増やすこと

②自治基本条例というものが、どういうものなのかわかりやすく知りたい

③市民と行政のかかわりあいをどのように進めていくか

④市議会との関係を心配しています。議会の事まで条例に盛り込むことは、越権行為にならないか

議員にどの程度理解してもらえるか心配しています

⑤PI活動を継続していくことが重要

⑤財政面を強調することには？

自治を取り戻すということをPRしたい

⑥人口減少と少子高齢化は、全国的な問題であり、焼津市のみでは解決しない

条例の位置づけが疑問

例) 住民投票は妥当か？

### ●テーマ2：焼津市が安心してずっと住み続けられるまちであるためにみんなのルールに盛り込みたいこと

①交通安全を心がけて、交通事故ゼロを目指します(安心・安全)

①家庭から健康を目指します

自分の身体(健康)は、自分で守ります 「健康なまちづくり」

②情報の共有化

③情報公開・・・早く

説明責任

③まちづくりの基本原則

・協働

・市民参画

④災害に強いまちづくり



地域のつながり = 広域化



コミュニティ、自治会の強化につながるルールづくり

⑤焼津市に住んでいる市民の意見が聴けるように、市役所などにアンケート箱を設置する

⑥教育について盛り込む